

2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5195 URL <https://www.bandogrp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 満隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 林 一志 TEL 078-304-2516
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	58,619	△14.8	3,225	△25.1	3,481	△18.3	3,432	△18.0	2,511	△20.7	4,347	35.8
2020年3月期第3四半期	68,770	△4.2	4,304	△24.7	4,261	△32.0	4,184	△36.7	3,165	△36.2	3,201	△13.6

(注) コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	55.13	—
2020年3月期第3四半期	69.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	113,510	67,287	67,039	59.1
2020年3月期	110,297	63,909	63,648	57.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2021年3月期	—	6.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	16.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△11.4	4,000	△23.8	4,500	118.8	3,000	339.5	65.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	47,213,536株	2020年3月期	47,213,536株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,643,299株	2020年3月期	1,710,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	45,548,844株	2020年3月期3Q	45,805,333株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
3. 補足情報	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上収益	68,770	58,619	△10,151	△14.8
自動車部品事業	29,702	24,658	△5,044	△17.0
産業資材事業	25,071	22,301	△2,770	△11.0
高機能エラストマー製品事業	10,494	8,514	△1,980	△18.9
その他	3,999	3,945	△54	△1.4
調整額	△497	△800	△302	—
コア営業利益(セグメント利益)(△は損失)	4,304	3,225	△1,078	△25.1
自動車部品事業	1,575	1,287	△287	△18.2
産業資材事業	1,740	1,621	△118	△6.8
高機能エラストマー製品事業	340	△308	△649	—
その他	473	282	△190	△40.3
調整額	174	342	167	96.3
営業利益	4,261	3,481	△779	△18.3
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,165	2,511	△654	△20.7

(注) コア営業利益(△は損失)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国では、政府の経済対策やテレワーク、5G需要の広がりを受けた輸出の回復に支えられ、景気回復が持続いたしました。一方、新型コロナウイルスの感染再拡大を背景とした活動規制の強化等により、米国、日本およびアジア地域では、景気に持ち直しの動きは見られたものの、回復ペースは緩やかなものに留まりました。また、欧州では、ロックダウンの長期化もあり、景気は減速基調で推移いたしました。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、中国では、政府による景気刺激策の効果もあり、生産台数が引き続き前年度を上回る状況で推移いたしました。一方、その他の地域では、生産台数は回復傾向にあるものの、総じて前年度を依然として下回る状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”(未来への躍進)の第2ステージの3年目として、新事業の創出、コア事業の拡大、ものづくりの深化と進化、個人と組織の働き方改革の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指して活動を推進しました。新たな事業の柱の1つとして取り組んできた医療機器分野において、当社が独自開発した伸縮性ひずみセンサ「C-STRETCH®」の技術を応用した「ATメジャー」を、連結子会社である株式会社Aimedic MMTが開発し、販売を開始しました。また、新型コロナウイルスの感染が再拡大し、対面でのコミュニケーションが制約を受ける中、新製品や新技術を紹介し各種業界の課題解決に役立つオンラインセミナーを積極的に開催いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間は、売上収益は58,619百万円(前年同期比14.8%減)、コア営業利益は3,225百万円(前年同期比25.1%減)、営業利益は3,481百万円(前年同期比18.3%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,511百万円(前年同期比20.7%減)となりました。

事業(セグメント)別の状況は、次のとおりであります。

[自動車部品事業]

国内においては、積極的な営業活動により補修市場向け新商材や多用途四輪車用変速ベルトの販売が増加したものの、自動車生産台数の減少により補機駆動用伝動ベルト(リブエース®など)および伝動システム製品(オートテンションなど)の販売が減少いたしました。

海外においては、中国において自動車生産台数が好調に推移したことにより、自動車メーカー向け補機駆動用伝動ベルトなどの販売が伸長いたしました。一方、米国およびアジア地域においては四輪・二輪車メーカーの減産や操業停止により販売が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は24,658百万円(前年同期比17.0%減)、セグメント利益は1,287百万円(前年同期比18.2%減)となりました。

[産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、機械受注の減少により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少いたしました。海外においては、中国およびタイにおいて農業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。米国において産業機械用伝動ベルトの販売が減少いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内においてコンベヤベルトや樹脂コンベヤベルト(サンライン®ベルト)などの販売が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は22,301百万円(前年同期比11.0%減)、セグメント利益は1,621百万円(前年同期比6.8%減)となりました。

[高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、建築着工の落ち込みなどにより、建築資材用、工業資材用および装飾表示用フィルムなどの販売が減少いたしました。

精密機能部品につきましては、当社主要顧客の減産の影響により、精密ベルト、高機能ローラおよびブレードなどの販売が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は8,514百万円(前年同期比18.9%減)、セグメント損失は308百万円(前年同期はセグメント利益340百万円)となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを行っております。売上収益は自動車・産業機械分野での減産などによるロボット関連デバイス事業の販売減少もあり3,945百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント利益は282百万円(前年同期比40.3%減)となりました。

上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益または損失は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産が3,177百万円増加し、非流動資産が35百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ3,212百万円増加し、113,510百万円となりました。

負債は、流動負債が850百万円減少し、非流動負債が686百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ164百万円減少し、46,223百万円となりました。

資本は、利益剰余金が1,995百万円増加し、その他の資本の構成要素が1,352百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ3,377百万円増加し、67,287百万円となりました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の57.7%から59.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は18,007百万円(前年同期は13,326百万円)となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、営業活動による資金収支は6,920百万円の収入超過(前年同期は5,716百万円の収入超過)となりました。これは主に、税引前四半期利益3,432百万円と減価償却費及び償却費4,451百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、投資活動による資金収支は1,839百万円の支出超過(前年同期は13,162百万円の支出超過)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,466百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、財務活動による資金収支は1,718百万円の支出超過(前年同期は3,212百万円の収入超過)となりました。これは主に、リース負債の返済による支出877百万円、親会社の所有者への配当金の支払額1,003百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大が依然として国内外経済に大きく影響を与えておりますが、主に自動車部品事業において回復傾向が見られることから、第3四半期までの実績を踏まえ、2020年11月11日公表のものから修正することといたしました。

業績予想は、売上収益80,000百万円(前回発表75,000百万円。増減比6.7%増)、コア営業利益4,000百万円(前回発表2,500百万円。増減比60.0%増)、営業利益4,500百万円(前回発表2,500百万円。増減比80.0%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益3,000百万円(前回発表1,500百万円。増減比100.0%増)を見込んでおります。

また、未定とさせていただいていた期末配当予想についても、業績予想の修正に基づき、1株当たり16円とさせていただきます。

なお、本予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、様々な要因により今回の予想が修正される可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	14,493	18,007
営業債権及びその他の債権	20,103	19,740
棚卸資産	12,851	12,132
未収法人所得税	17	415
その他の金融資産	634	465
その他の流動資産	722	1,239
流動資産合計	48,822	51,999
非流動資産		
有形固定資産	33,913	32,738
のれん	8,594	8,598
無形資産	4,798	4,444
持分法で会計処理されている投資	6,039	6,536
その他の金融資産	7,010	8,064
繰延税金資産	524	513
その他の非流動資産	594	615
非流動資産合計	61,474	61,510
資産合計	110,297	113,510

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	13,483	13,398
社債及び借入金	6,774	6,044
未払法人所得税	348	507
その他の金融負債	998	925
引当金	26	10
その他の流動負債	4,198	4,092
流動負債合計	25,829	24,978
非流動負債		
社債及び借入金	14,700	15,500
退職給付に係る負債	777	784
その他の金融負債	1,611	1,474
繰延税金負債	932	1,247
その他の非流動負債	2,537	2,238
非流動負債合計	20,558	21,244
負債合計	46,387	46,223
資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	3,075	3,047
利益剰余金	52,301	54,296
自己株式	△1,692	△1,621
その他の資本の構成要素	△988	363
親会社の所有者に帰属する持分合計	63,648	67,039
非支配持分	261	248
資本合計	63,909	67,287
負債および資本合計	110,297	113,510

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	68,770	58,619
売上原価	48,184	40,778
売上総利益	20,585	17,840
販売費及び一般管理費	16,281	14,614
その他の収益	185	205
その他の費用	648	178
持分法による投資利益(△は損失)	420	228
営業利益	4,261	3,481
金融収益	344	270
金融費用	421	319
税引前四半期利益	4,184	3,432
法人所得税費用	1,002	912
四半期利益	3,182	2,519
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	3,165	2,511
非支配持分	17	8
四半期利益	3,182	2,519
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	69.10	55.13

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	3,182	2,519
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	303	1,196
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	△52	67
純損益に振り替えられることのない項目合計	250	1,263
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△267	261
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	35	302
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△231	563
その他の包括利益合計	19	1,827
四半期包括利益	3,201	4,347
四半期包括利益の帰属:		
親会社の所有者	3,185	4,350
非支配持分	15	△3
四半期包括利益	3,201	4,347

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2019年4月1日 残高	10,951	3,092	53,147	△1,346	2,026	67,871	261	68,132
四半期利益			3,165			3,165	17	3,182
その他の包括利益					20	20	△1	19
四半期包括利益合計	—	—	3,165	—	20	3,185	15	3,201
剰余金の配当			△1,470			△1,470	△15	△1,486
自己株式の取得				△473		△473		△473
自己株式の処分		△6		103		96		96
株式に基づく報酬取引		20		3		24		24
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△20		20	—		—
所有者との取引額等合計	—	13	△1,490	△366	20	△1,823	△15	△1,839
2019年12月31日 残高	10,951	3,106	54,822	△1,713	2,066	69,234	260	69,495

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2020年4月1日 残高	10,951	3,075	52,301	△1,692	△988	63,648	261	63,909
四半期利益			2,511			2,511	8	2,519
その他の包括利益					1,839	1,839	△12	1,827
四半期包括利益合計	—	—	2,511	—	1,839	4,350	△3	4,347
剰余金の配当			△1,003			△1,003	△9	△1,012
自己株式の取得				△1		△1		△1
自己株式の処分		△27		72		44		44
株式に基づく報酬取引						—		—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			487		△487	—		—
所有者との取引額等合計	—	△27	△515	70	△487	△960	△9	△969
2020年12月31日 残高	10,951	3,047	54,296	△1,621	363	67,039	248	67,287

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,184	3,432
減価償却費及び償却費	4,492	4,451
受取利息及び受取配当金	△330	△267
支払利息	121	105
持分法による投資損益(△は益)	△420	△228
固定資産除売却損益(△は益)	66	68
棚卸資産の増減額(△は増加)	329	729
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	346	415
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,321	218
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△862	△1
退職給付信託返還に伴う資本性金融商品の増加額	△1,355	—
引当金の増減額(△は減少)	△290	△15
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	2,281	△301
その他	△2	△554
小計	7,237	8,051
利息及び配当金の受取額	468	359
利息の支払額	△115	△97
法人所得税の支払額	△1,877	△1,454
法人所得税の還付額	2	61
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,716	6,920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△657	△456
定期預金の払戻による収入	436	622
有形固定資産の取得による支出	△3,456	△2,466
有形固定資産の売却による収入	70	54
無形資産の取得による支出	△449	△257
資本性金融商品の取得による支出	△22	△17
資本性金融商品の売却による収入	182	707
子会社株式の取得による支出	△9,291	—
その他	24	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,162	△1,839

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金(3ヶ月以内)の純増減額(△は減少)	900	△536
短期借入れ(3ヶ月超)による収入	—	2,000
短期借入金(3ヶ月超)の返済による支出	—	△2,000
長期借入れによる収入	10,500	2,000
長期借入金の返済による支出	△5,370	△1,335
リース負債の返済による支出	△954	△877
自己株式の取得による支出	△472	△0
自己株式の売却による収入	96	44
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,470	△1,003
非支配持分への配当金の支払額	△15	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,212	△1,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,203	3,513
現金及び現金同等物の期首残高	17,530	14,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,326	18,007

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスを軸とした事業部制を採用しており、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内および海外における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループの事業は親会社の事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車部品事業」、「産業資材事業」および「高機能エラストマー製品事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントは、次の製造・販売を行っております。

セグメントの名称	主要な製品
自動車部品事業	自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など
産業資材事業	一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど
高機能エラストマー製品事業	クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失の金額に関する情報

報告されている各事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と概ね同一であります。セグメント間の売上収益または振替高は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益および利益または損失は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	29,677	25,028	10,481	65,186	3,583	—	68,770
セグメント間の売上収益 または振替高	25	42	13	81	416	△497	—
計	29,702	25,071	10,494	65,268	3,999	△497	68,770
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	1,575	1,740	340	3,656	473	174	4,304
その他の収益	—	—	—	—	—	—	185
その他の費用	—	—	—	—	—	—	648
持分法による投資利益 (△は 損失)	—	—	—	—	—	—	420
営業利益	—	—	—	—	—	—	4,261
金融収益	—	—	—	—	—	—	344
金融費用	—	—	—	—	—	—	421
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	4,184

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

2. セグメント利益 (△は損失) の調整額174百万円には、セグメント間取引消去17百万円、全社費用156百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益 (△は損失) はコア営業利益で表示しております。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	24,657	22,234	8,496	55,388	3,230	—	58,619
セグメント間の売上収益 または振替高	0	66	18	85	714	△800	—
計	24,658	22,301	8,514	55,473	3,945	△800	58,619
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	1,287	1,621	△308	2,600	282	342	3,225
その他の収益	—	—	—	—	—	—	205
その他の費用	—	—	—	—	—	—	178
持分法による投資利益 (△は 損失)	—	—	—	—	—	—	228
営業利益	—	—	—	—	—	—	3,481
金融収益	—	—	—	—	—	—	270
金融費用	—	—	—	—	—	—	319
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	3,432

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益 (△は損失) の調整額342百万円には、セグメント間取引消去△15百万円、全社費用357百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。
3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益 (△は損失) はコア営業利益で表示しております。

3. 補足情報

[海外売上収益]

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

	アジア	中国	欧米他	計
I 海外売上収益(百万円)	15,252	6,316	6,463	28,032
II 連結売上収益(百万円)				58,619
III 連結売上収益に占める海外売上収益の割合(%)	26.0	10.8	11.0	47.8

(注) 1. 海外売上収益は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上収益であります。

2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

(1) 国または地域の区分の方法は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

アジア……………タイ、韓国、インド、ベトナム、インドネシアほか

中国……………中国、香港

欧米他……………米国、ヨーロッパ、中南米、オセアニアほか